

施設長	園長	部長	記録者
			

社会福祉法人駿河会 平成 29 年度 第 1 回 地域密着型サービス運営推進会議【薬科】

日時 平成 29 年 10 月 26 日 13:30～14:00  
 会場 ラポーレ駿河相談室  
 出席者 玉田直文 芳澤ひろ子 村田雄二  
 森谷正義 三浦勝己 森 朝世  
 後藤友紀 小黒達也 (薬科包括)

事務局 本日はお時間をいただきましてありがとうございます。  
 では、早速ですが駿河会の地域密着型サービス運営推進会議を始めたいと思います。

はじめの挨拶

玉田 日頃より駿河会の事業運営にご理解を頂きましてありがとうございます。  
 本日はせっかくの機会になりますので、忌憚のないご意見を頂き、今後も良い運営につなげて行きたいと思いますので、よろしくお願いします。

事務局 29 年度における第 1 回目の運営推進会議となります。  
 今回の議題としては、上半期における事業の実施状況について、主に 29 年 4 月より実施となった総合事業の内容を含め、報告いたします。また、地域における活動状況についても合わせて報告いたします。

では、こだま、嘉響の順で、各担当者から報告します。

こだま (小黒) ・平成 29 年 6 月より、「認知症対応型通所介護 晃の園デイサービスセンター」から「地域密着型通所介護 デイサービスセンターこだまへと移行。  
 ・総合事業における実績。  
 ・地域での取組。(7/15、コミュニティスペース羽鳥にて福祉用具体験会実施)

嘉響 (後藤) ・総合事業における実績。  
 ・事業対象者としての通所介護利用。  
 ・地域での取組。(10/18、清沢こども園へぞうきん寄贈)

事務局

以上がこだま、嘉響における上半期の報告となります。

各担当者は、もっとお話ししたい事があると思います。

森谷さん、三浦さん、森さん、「こんなことを聞いてみたい」というような事はありますか？

三浦委員

駿河会さんの活動では、羽鳥で認知症カフェや子供食堂を行っているという話を聞いています。地域の広報誌でも取り上げられた記事を拝見しました。地域の中で活動することは良いと感じています。

森委員

昨今は制度が変わっていくことが多くなり、すべてを理解するのはとても大変に感じています。私の地区（小布杉）では、川を挟んで静岡市と藤枝市に分かれており、静岡市のデイサービスを使える人とそうでない人が同地区にいるという現状があり、もっとサービスを利用しやすい環境になれば良いと思っています。

藁科包括(森主氏) 地域によってそれぞれの実情があると思います。実際にサービス利用で困った事があれば行政にかけあうという方法もあるので、是非相談を頂ければと思います。

事務局

次回の運営推進会議は、3月に行いたいと考えております。

平成30年度は、介護保険・医療保険共に制度改定を行う節目の年となります。

例えば、現時点で発表されている内容の中では、「介護保険サービス利用者負担割合3割」「要介護認定の期間延長」（別紙参照）などがあげられます。

次回の運営推進会議においては、制度改定に対する各事業所の対応を中心にご報告できればと思っています。

準備ができ次第ご連絡差し上げるように致します。ありがとうございました。

終わりの挨拶

玉田

様々なご意見を頂きありがとうございました。

今日頂いたご意見をもとに、デイサービスに限らず駿河会という法人として地域を支えるための方策を考え、実践していきたいと思っています。

本日はありがとうございました。